

2013 年 10 月 1 日

## 国際インターネット接続サービス「グローバル IP ネットワーク」の インドネシアにおける接続拠点開設について

NTT コミュニケーションズ (略称 : NTT Com) は、国際インターネット接続サービス 「グローバル IP ネットワーク」 の新たな接続拠点 (Point of Presence : PoP) をインドネシアのジャカルタに 2 拠点開設し、2013 年 10 月 1 日より提供を開始します。これにより、NTT Com は世界でもインターネット関連ビジネスの成長著しいインドネシアにおいて、IPv4/IPv6 デュアルスタックの国際インターネットへのインドネシア国内での接続を、同国の ISP<sup>\*1</sup> 事業者や同国へインターネット関連ビジネスを展開する事業者などへ提供することが可能となります。

### 1. 概要

2 億 4000 万人超の人口を抱え、年間成長率約 80% とインターネットの普及が急激に進んでいるインドネシアにおいて、国際インターネットのトラフィック量が増加するとともに、同国内の ISP や ICP<sup>\*2</sup> より、高品質で信頼性の高い IP バックボーンへの直接接続を求める声が高まっていました。NTT Com は、急増する需要に応えるため、世界各国のコンテンツや ISP と接続している Tier1<sup>\*3</sup> 「グローバル IP ネットワーク」 の接続拠点をインドネシア国内に開設します。

今回、ジャカルタ市内 2 拠点に PoP を開設することで、IPv6 対応の Tier1 IP バックボーンへの直接接続を現地の ISP や ICP、および同国へインターネット関連ビジネスを展開する事業者などへ提供します。これにより、安定した遅延が少ない、国際インターネット接続環境および海外インターネットコンテンツの同国への配信環境がもたらされ、同国の ICT 環境の向上および同国内外からのインターネット関連ビジネスのさらなる拡大が期待されます。さらに、今回の拠点開設により、NTT Com はインドネシアにおいて、国際インターネット接続、データセンター、データネットワーク、クラウドサービスなど、より広範な ICT ソリューションの提供が可能となります。

### 2. 「グローバル IP ネットワーク」について

NTT Com の「グローバル IP ネットワーク」は、世界で 2 位、アジア地域で 1 位のシェアを誇る<sup>\*4</sup>、グローバルに展開する IP バックボーンで構成された国際インターネット接続サービスです。特に太平洋間では業界最大のインターネット容量を保有しています。

今回の拠点開設は 2011 年のベトナム、2012 年のラオスとブルネイに続く、東南アジア新興国における国際インターネットサービス展開のさらなる一歩となります。NTT Com は、引き続き新興国への積極的にサービスを展開し、アジア全体のインターネット環境の改善、ICT 化の推進へ貢献していきたいと考えております。

- \*1 Internet Services Provider (インターネットサービスプロバイダ)の略。顧客に対して主にインターネット接続環境を提供する事業者
- \*2 Internet Content Provider (インターネットコンテンツプロバイダ) の略。顧客に対して主にインターネット上でさまざまなコンテンツを提供する事業者。
- \*3 Tier1 : インターネットの経路情報を他社から買わなくてよい大規模な ISP グループのこと。
- \*4 米国 Renesys Corporation 社の Internet wholesale ranking による。(2013 年 9 月現在)